

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 4 区分

【発行日】平成 18 年 10 月 26 日 (2006.10.26)

【公開番号】特開 2005-222643 (P2005-222643A)

【公開日】平成 17 年 8 月 18 日 (2005.8.18)

【年通号数】公開・登録公報 2005-032

【出願番号】特願 2004-30472 (P2004-30472)

【国際特許分類】

G 1 1 B 20/10 (2006.01)

G 1 1 B 31/00 (2006.01)

H 0 4 N 5/76 (2006.01)

H 0 4 N 5/765 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 20/10 3 1 1

G 1 1 B 31/00 5 4 1 F

G 1 1 B 31/00 5 8 1 C

H 0 4 N 5/76 Z

H 0 4 N 5/91 L

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 8 月 15 日 (2006.8.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

放送番組を受信する受信機器と、

この受信機器とネットワークを介して接続され、前記受信機器で受信され該受信機器から出力される放送番組を構成する信号が記録信号として供給される記録機器と、

前記受信機器に設けられ、将来放送される番組を前記受信機器で受信させ、かつ前記記録機器で記録させるための記録予約データを入力する記録予約手段と、

この記録予約手段から入力された予約データを前記ネットワークを介して前記記録機器に伝送して記憶させ、当該記録機器の記録動作をその記録予約データに基づいて実行させる制御手段と、

を具備したことを特徴とする放送番組記録システム。

【請求項 2】

前記記録機器は、前記ネットワークを介して伝送される前記記録予約手段で入力されたデータの記憶が完了したことを当該ネットワークを介して前記受信機器に通知する手段を備えたことを特徴とする請求項 1 に記載の放送番組記録システム。

【請求項 3】

前記記録機器は、前記ネットワークを介して伝送される前記記録予約手段で入力されたデータの記憶が実行されないことを当該ネットワークを介して前記受信機器に通知する手段を備えたことを特徴とする請求項 1 に記載の放送番組記録システム。

【請求項 4】

前記受信機器は、映像表示手段を備え、前記記録機器から前記ネットワークを介して送られる通知に基づくメッセージを前記映像表示手段で表示させることを特徴とする請求項 2 または 3 に記載の放送番組記録システム。

【請求項 5】

受信機器と、この受信機器で受信した放送番組を構成する信号を記録信号として受ける記録機器とをネットワーク接続するステップと、

将来放送される番組を前記受信機器で受信させ、かつ前記記録機器で記録させるための記録予約データを入力するステップと、

前記記録機器と前記受信機器のそれぞれに前記記録予約データを登録するステップと、

受信機器の受信動作と記録機器の記録動作をそれぞれ登録された記録予約データに基づいて実行させるステップと、

を有する放送番組記録方法。

【請求項 6】

受信した放送番組を構成する信号を、記録機器で記録するために外部に出力する出力手段と、

前記記録機器とネットワーク接続するための通信手段と、

将来の放送番組の受信を予約するデータを入力する番組予約データ入力手段と、

この番組予約データを前記記録機器に登録するために前記ネットワークを介して送出する制御手段と、

を具備したことを特徴とする放送番組記録制御装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

本発明の放送番組記録システムは、放送番組を受信する受信機器と、この受信機器とネットワークを介して接続され、前記受信機器で受信され該受信機器から出力される放送番組を構成する信号が記録信号として供給される記録機器と、前記受信機器に設けられ、将来放送される番組を前記受信機器で受信させ、かつ前記記録機器で記録させるための記録予約データを入力する記録予約手段と、この記録予約手段から入力された予約データを前記ネットワークを介して前記記録機器に伝送して記憶させ、当該記録機器の記録動作をその記録予約データに基づいて実行させる制御手段と、を具備したことを特徴とする。